

G20 財務大臣・中央銀行総裁会議

田中 修

はじめに

7月23-24日、G20財務省・中央銀行総裁会議が成都で開催された。本稿では、財政部・人民銀行が発表した、会議における楼継偉財政部長と周小川人民銀行行長の発言要旨を紹介する。

1. 楼継偉財政部長

最近、国際的に発生した一連の事件は、決して国際金融市場に大きな衝撃を作り出していないとはいえ、情勢は依然として楽観できない。

世界の低成長はすでに新常态となり、かつ多くの問題の根源となっており、経済社会の矛盾を激化させている。このような情勢の下、G20各国は協力を強化し、G20上海会議のコンセンサスを再提起し、財政・金融政策と構造改革などあらゆる政策手段を引き続き採用して、自信を強め、成長を促進する必要がある。

①需要管理政策は依然重要である

金融政策の限界効果は低減しており、より多くの成長に友好的な財政政策を実施しなければならない。財政の余地がある国家は財政支出を強化しなければならない。

②構造改革を通じて、低成長の傾向に対応しなければならない

先進经济体は、労働力市場の弾力性を引き続き高め、投資と生産性の伸びを促進しなければならない。

新興经济体は、経済の強靭性を強め、規制を緩和し、競争を促進して、金融部門の改革を推進しなければならない。

③経済のグローバル化プロセスを引き続き支援しなければならない

各種の形式の保護主義に反対し、規制的な貿易措置を使用することを自制しなければならない。

④関係国は現実の試練に積極的に対応しなければならない

英国とEUが密接なパートナーシップを構築し、対外的にポジティブなシグナルを発信し、経済の見通しについての市場の期待を安定化させることを希望する。

今年上半期、中国のGDP成長率は6.7%であり、各指標は予想に符合している。

構造調整は重要な進展をみて、経済成長の質は不断に高まった。GDPに占めるサービス業のウェイトは54.1%に達した。GDP成長率に対する最終消費の寄与率は73.4%に達した。GDPに対する内需の寄与率は110.4%に高まった。GDP単位当たりエネルギー消費は前年同期比で5.2%低下した。

とりわけ雇用は基本的に安定を維持し、今年上半期の新規就業増は717万人に達した。

中国経済は依然として世界経済の「動力源」「アンカー」である。2015年、世界経済の成長に対する中国の寄与は30%に接近したが、今年はなおかなり高い水準を維持するものと予想される。

今年G20は構造改革の道で重要な一步を踏み出し、1つの枠組みを初歩的に確立したことは、G20が構造改革を深化させるために、政策の参考・比較衡量の手段を提供し、かつ各方面の改革アクションの協調性・有効性を高めた。

今後G20は、情勢の変化に応じ構造改革の枠組みを不断に調整・整備し、グローバル経済の力強く、持続可能で、バランスのとれた成長の実現を推進していく。

2. 周小川人民銀行行長

上半期、中国経済の運営は総体として平穏であり、安定の中で前進があり、経済成長は合理的区間にあり、物価・雇用情勢は安定を維持している。

英国の「EU離脱」国民投票の後、中国経済の運営が直面する外部環境はより複雑さを増した。

中国政府はマクロ経済政策の安定性・連続性を維持すると同時に、サプライサイド構造改革の推進に力を入れる。これは、過剰生産能力等の構造的問題を解決するために必然的に経由しなければならない道でもある。

一定の適応期間を経て後、人民元レート形成メカニズムに対する市場参加者の理解は、既により深まっている。現在、人民元は通貨バスケットに対して基本的に安定を維持しており、市場の自信は堅固となっている。将来、中国は、市場需給を基礎とし、通貨バスケットを参考にして調節を進める人民元レート形成メカニズムを引き続き整備し、政策の規則性・透明度を不断に高め、市場との意思疎通を強化する。

国際金融のアーキテクチャ作業部会がスタートして以来、各施策は顕著な進展をみた。G20はIMF第15次クォーター一般見直しを引き続き推進し、新興市場と発展途上国のクォータ・シェアを一層高めるべきである。強化された契約条項をソブリン債券に組み入れることを引き続き推進し、パリクラブの構成員をより多く新興債権国に拡大することを歓迎すべきである。地域金融取極めとIMFとの協力をより多く進め、IMFの貸出手段を不断に整備するよう呼びかける。同時に、SDRの使用を拡大すべきである。人民銀行は、既に外貨準備・国際収支・国際投資のポジションデータをSDR建てとすることを発表しており、現在SDR債券発行の可能性を検討している。

近年、金融部門の改革を顕著な進展をみて、グローバル金融システムの健全性は有効に高まった。G20は、グローバル金融部門の改革プロセスを引き続き推進することを含め、

より開放的で強力・強靱な金融システムの構築に引き続き努力し、マクロプルーデンスの枠組み・手段の経験の総括・エキスの抽出を推進し、金融市場のインフラに対する管理監督強化を推進すべきである。

今年 G20 はインクルーシブファイナンスの指標の数値化・データ化の方面で積極的な進展を得ており、インクルーシブファイナンスの発展をさらに引き続き推進することにより、経済成長の成果の恩恵を全ての人々に及ぼすべきである。

今年、G20 グリーン金融スタディグループの活動は、初歩的な成果を得て報告書を作成した。各方面が各国の国情に基づき、金融のイノベーション・知識のシェアと能力建設・リスク分析・国際協力等の方式を通じて、いかにより多くの資源を動員するかを深く研究したことは、グローバルなグリーン金融の発展推進のために有益な参考を提供した。

(7月26日記)